

2021. 8. 6 <計 2 枚>

草津市政記者クラブ加盟社 各位

立命館大学広報課

**スポーツ庁「大学のスポーツ資源を活用した地域活性化拠点形成・
大学スポーツアドミニストレーター配置支援事業」に採択
大学のスポーツ資源を活用した地域との連携強化・スポーツ推進を図る**

立命館大学は、スポーツ庁が公募した令和 3 年度「大学のスポーツ資源を活用した地域活性化拠点形成・大学スポーツアドミニストレーター配置支援事業」(※)に採択されました。

本事業は、大学スポーツの持つ潜在力を活かして、地域における経済・社会の活性化、スポーツを通じた健康増進、スポーツのための環境整備等にも貢献するとともに、各大学におけるスポーツ分野を一体的に統括する部局の設置や専門人材の育成、先進的モデル事業の展開、大学が主体となって地域との連携を促進するためのコンソーシアムの形成等を支援する事業です。

※スポーツ庁ホームページより https://www.mext.go.jp/sports/b_menu/boshu/detail/jsa_00059.html

スポーツ庁は、大学におけるスポーツ分野を戦略的かつ一体的に管理・統括する部局や人材の配置を支援し、大学スポーツの活性化や大学スポーツを通じた大学全体の振興、さらには地域の活性化につながる取り組みや体制整備を進めています。

本学は、競技スポーツの強化やスポーツのための環境整備を担うセクションとして、1998 年に「スポーツ強化センター」を設置しました。2010 年にはびわこ・くさつキャンパス(滋賀県草津市)にスポーツ健康科学部を開設し、スポーツと健康に関する学際的な研究や地域を巻き込んだ健康増進活動など、教育・研究の両面から多くの取り組みを進めています。

今回の採択を受け、本学では産学官民の事業体と連携したコンソーシアムを形成し、運営には日頃からスポーツの魅力や自身のアスリートとしての知見を地域に還元しようと積極的に地域連携活動に取り組む体育会クラブ所属学生も携わります。びわこ・くさつキャンパスを中心に、地域のスポーツ振興、健康増進や経済・社会の活性化など、立命館大学全体で地域社会の健康で豊かなコミュニティづくりの貢献に寄与していきます。

■立命館大学採択事業の概要

事業名：「大学・地域のスポーツ資源(ひと・もの・こと)を活用した健幸づくりコンソーシアムの形成－産学官民連携によるスポーツ事業の創出－」

体制：小沢道紀・立命館大学学生部副部長(スポーツ振興担当)、スポーツ強化オフィス職員、体育会クラブ所属学生

事業内容：①地域連携事業の可視化
②大塚製薬と連携した高齢者および児童に向けた熱中症予防の啓発
③運動が好きな青少年を育成するためのスポーツ体験の提供
④多世代で交流することが可能な地域スポーツ大会の開催

●取材・内容についてのお問い合わせ先

立命館大学広報課 担当:遠藤 TEL.075-813-8300 <http://www.ritsumei.ac.jp/>

※8月10日(火)～16日(月)は夏期一斉休業期間となり、閉室しています

■「大学・地域のスポーツ資源(ひと・もの・こと)を活用した健幸づくりコンソーシアムの形成－産学官地連携によるスポーツ事業の創出－」事業の全体像

【立命館大学】大学のスポーツ資源を活用した地域活性化拠点形成
 大学スポーツアドミニストレーター配置支援事業



大学・地域のスポーツ資源(ひと・もの・こと)を活用した健幸づくりコンソーシアムの形成
 ー産学官民連携によるスポーツ事業の創出ー

